



2024年4月1日
株式会社 阿波銀行

医療法人輝樹会 喜多デンタルクリニックの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、医療法人輝樹会 喜多デンタルクリニック（理事長 喜多 大作、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	医療法人輝樹会 喜多デンタルクリニック
所在地	徳島県徳島市沖浜三丁目 64 番地
代表者	喜多 大作
業種	医療業
設立	2017年10月6日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2024年4月1日



医療法人輝樹会 喜多デンタルクリニック 理事長 喜多 大作

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会	ワークライフ バランス	社員の豊かなライフスタイル 実現のため、育児や介護と 仕事を両立しやすい環境を 目指します。	① (1)産前・産後休業・育児休業制度の整備 (2)各種休暇を取得しやすい風土づくり (3)時間外労働の削減		
			② (1)育児休暇取得率100%の維持 (2)各種休暇取得率を2025年度までに 100% (3)2025年度までに10%削減		
社会	情報漏えいの 防止	各種機密情報の保護の 重要性を従業員全員が 認識し、情報漏えい防止に 努めます。	① (1)パソコンや記憶メディアの取扱いルール 制定 (2)情報漏えいに関する研修の実施		
			② (1)取扱いルールのマニュアルを2025年度 までに作成・共有 (2)年に1回研修を実施		
経済	経営理念・ 目標の発信、 浸透	経営層が自社の事業方針に ついて社員一人一人に浸透 するよう、主体的に努めます。	① (1)経営理念のHP上での公開 (2)経営理念・目標に関する社長メッセー ジの発信 (3)経営層による企業・経営理念に関する 研修の実施		
			② (1)2025年度までにHP、SNS上で公開 (2)年に1回SNSなどを通して実施 (3)年に2回実施		
環境・ 社会・ 経済	地域住民の 健康、地域 活動に貢献	医療を通じて地域住民の 健康、人に寄り添う活動に 取組みます。	① (1)予防歯科診療・訪問歯科診療の強化 (2)使用済歯ブラシの再生利用 (3)地域の医療機関、歯科医院との連携 強化		
			② (1)2026年までに診療数10%増加 (2)NPO法人へのリサイクル寄付の継続 (3)法改正や現状の医療に関する情報 共有を引き続き実施		



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。